

発生段階に応じた診療継続計画及び地域連携等の概要の見出し

第I章 総論			
大項目	小項目	主な内容	
1 基本方針	(1)当院の役割	○地域における新型インフルエンザ等の診療における当院の役割	
	(2)段階別対応方針	○発生段階別における当院の基本的対応方針	
	(3)優先診療業務	○優先診療業務 (A:高い、B:中程度、C:低い)	
2 診療継続計画	(1)策定と変更	○対策会議の目的とメンバー	
	(2)当院の役割確認	○診療継続計画を策定する前提条件を記載	
	(3)職員への周知	○本計画の職員への周知徹底方法	
3 意思決定体制	(1)意思決定者	○当院の診療体制の検討場面と決定者の決定	
	(2)代理	○決定者が事故などで不在の時の代理	
4 情報収集	(1)情報収集部門設置	○情報の一元化のための部門の設置とメンバー決定	
	(2)情報の周知	○職員への情報周知方法、組織としての情報管理	
第II章 未発生期の対応			
大項目	小項目	主な内容	
1 診療体制確保	(1)優先診療業務決定	○優先診療業務の具体的検討	
	(2)対応能力評価	○当院の人員・受け入れ能力評価、欠勤率40%時の診療能力	
	(3)入院可能病床数	○入院可能病床数と稼働可能な人工呼吸器の見積もり	
	(4)連絡網	○連絡網、職員の通勤経路・家族構成、欠勤可能性評価	
	(5)その他	○外来部門、検査部門、在宅診療部門など診療継続課題	
2 感染対策充実	(1)感染対策マニュアル	○既存の感染対策マニュアルの見直し	
	(2)教育と検収	○教育研修内容の確認	
	(3)特定接種への対応	○特定接種の登録事業者登録と手続き	
3 在庫管理		○医薬品・診療材料の在庫管理	
第III章 海外発生期以降の対応			
大項目	小項目	海外発生期、地域発生早期	地域感染期以降
1 対策本部	(1)対策本部の設置	○設置、構成、招集 ○第1回会議の議題	○継続
	(2)組織構成		
	(3)メンバーの招集		
	(4)業務・議題		
2 患者対応	(1)外来診療	新型インフルエンザ等患者の診察なし	軽症患者の診察あり、重症転院
	<新型インフルエンザ等患者>	○連携病院へ照会	①受付、②診療、③処方
		○空間的分離策開始	○空間的分離策強化
	<通常患者>	①地域感染期を想定準備	①受付、②診療、③処方
		②ファクシミリ処方準備	
	(2)入院診療	新型インフルエンザ等患者の入院なし	新型インフルエンザ等患者の入院あり
	<新型インフルエンザ等患者>	○感染期以降の対応方針を検討	○診療チーム分け
		○入院診療	○入院診療
	<通常患者>	○入院診療需要を減らす努力	○入院可能病床数把握
		○空き病床の4%確保	○空き病床の確保
	(3)重要診療業務	○救急外来、透析診療等維持 ○検診・人間ドック継続	○救急外来、透析診療等維持 ○検診・人間ドック延期・中止
	(4)検査部門	○PCR検体採取業務の開始 ○検体の保健所への搬送	○検査業務の継続
(5)在宅診療	○在宅・訪問看護にシフト	○在宅・訪問看護の強化	
(6)薬剤部門・医薬品部門	○在庫管理見直し、安定供給 ○業者連携	○在庫管理見直し、安定供給 ○業者連携	
3 職員対応	(1)職員体制見直し	○通勤経路・連絡網見直し	○欠勤者増加時の対応
	(2)職員の健康管理	○人員確認、情報共有等	○標準予防策、ワクチン、個人防護具 ○過重労働防止、労務管理
4 情報周知	(1)通院患者へ情報周知	○啓発・広報	○啓発・広報
5 事務機能	(1)事務部門(総務機能)維持	○事務体制の効率化	○事務体制の効率化
	(2)委託業者との連携	○委託業者と連携、機能維持	○委託業者と連携、機能維持
	(3)業者連絡先リスト		
第IV章 地域連携			
大項目	小項目	海外発生期、地域発生早期	地域感染期以降
	(1)地域連絡会議	○当院役割確認	○当院役割見直し
	(2)病診・病病連携		

※原則、患者は「帰国者・接触者外来」を受診する。例外的な対応であることに留意。